

企画県土警察常任委員会資料

(平成21年11月25日)

【その他報告事項】

- 1 第7回鳥取県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)について
【文化政策課】・・・1ページ
- 2 「日本のまつり・2009鳥取」の実施結果について
【文化政策課】・・・3ページ
- 3 「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」の策定状況等について
【観光政策課】・・・5ページ
- 4 山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に向けた
国内候補地決定等について
【観光政策課】・・・6ページ

文化観光局

第7回鳥取県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）について

平成21年11月25日
文化政策課

1 事業の目的

鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の助長と振興を図ることを目的とした公募展として平成15年度から毎年開催し、今年度で第7回となったところ。

2 第7回ジュニア県展開催にあたっての昨年との見直し内容

- (1) 高等学校では、歴史ある高等学校文化連盟や全国高等学校総合文化祭等などが大きな目標であり、ジュニア県展への出品意欲は低調。また、意欲ある高校生には県展・市展などのより高いレベルの展覧会に挑戦してもらいたいという趣旨から高校部門を廃止した。
- (2) 中学校部門の優秀作品を全国中学校総合文化祭に推薦することとしたほか、教育現場の参加意欲を増進させるため入賞者数を増加させたり、幅広く公平な観点から賞の選考を行うため、審査員数を増加するなど、小中学校向けの取り組みを充実した。

3 今年度の審査結果等について

○今年度は小学校の絵画の出品が大幅に増加するなどにより、全体の出品数も増加した。

(1) 審査結果及び入選総数 <審査会実施日 10月27日(火)>

部門	区分	入選総数	内 訳			
			知事賞	教育長賞	奨励賞	入 選
絵画・ デザイン	小学校	567	3	9	24	531
	中学校	121	1	3	10	107
書 写	小学校	328	3	9	24	292
	中学校	94	1	3	10	80
写 真	小学校	38	3	5	6	24
	中学校	167	1	3	10	153
計		1,315	12	32	84	1,187

(2) 出品状況

部門	出 品 数	参 考 (昨年度)	
絵画・ デザイン	小学校	1,828	1,594
	中学校	387	400
	高等学校	—	43
書 写	小学校	1,061	1,087
	中学校	304	324
	高等学校	—	52
写 真	小学校	120	100
	中学校	539	470
	高等学校	—	14
合 計	4,239	4,084	

4 表彰式

日時：平成21年11月22日(日) 10:00～

場所：鳥取県立博物館

5 展示会場及び会期

(入場料：無料)

区分	会場	会期
本展示	県立博物館 (鳥取市東町)	11月21日(土)～11月29日(日)
巡回展 (西部地区)	県立武道館 (米子市両三柳)	12月12日(土)～12月20日(日)
巡回展 (中部地区)	県立博物館 (倉吉市仲ノ町)	平成22年1月9日(土)～1月17日(日)

※ 入賞作品はすべての会場で、入選作品は本展示と出品された地区の巡回展で展示。

「日本のまつり・2009鳥取」の実施結果について

平成21年11月25日
文化政策課

10月10日(土)、11日(日)に鳥取市内で開催した地域伝統芸能の国内最大規模の祭典「日本のまつり・2009鳥取」の実施結果を報告します。

1 来場者数

総数13万3千人(目標値は10万人)

	10/9(金)	10/10(土)	10/11(日)	計
とりぎん文化会館梨花ホール	—	1,700人	1,800人	3,500人
コカ・コーラウエストスポーツパーク	—	23,500人	25,000人	48,500人
食のみやこ鳥取県フェスタ	—	18,000人	19,000人	37,000人
県民体育館	—	5,500人	6,000人	11,500人
風紋広場	1,000人	6,000人	6,000人	13,000人
若桜街道(パレード)	15,000人	20,000人	33,000人	68,000人
計	16,000人	51,200人	65,800人	133,000人

*その他、とりぎん文化会館展示室で同時開催した地域伝統工芸展に2日間で3,300人が来場

*食のみやこ鳥取県フェスタの来場者は、2日間で37,000人(昨年度は30,000人)

2 出演団体数

県内	県外	海外	合計
145団体(3,155人)	18団体(436人)	7団体(135団体)	170団体(3,726人)

*阿波踊りの公演団体である徳島県立城西高等学校が急きょ不参加(新型インフルエンザ)

3 県民参画

- (1) 企画段階から地域伝統芸能実践者等が加わり、実施計画作成に参画
- (2) ボランティアスタッフとして146人(延べ約200人)が参加
- (3) 県民による「おまつり盛り上げ企画」に9団体が参加
(1ヶ月前イベント、はしご酒ラリー、おもてなしバザー、ボランティアガイド等)

4 出演者、来場者等からの主な意見

- (1) 出演者
 - ・ 県外団体との交流が図られた(秋田竿灯と米子がいな万灯、宇和島牛鬼と倉吉牛鬼)。
 - ・ 今回の出演を機に、出演団体の中での連携が図れた(米子がいな万灯振興会:いつもは各参加連での練習だったが、今回は参加連(6団体)が合同で練習を行い、技の教え合いもできた)。
 - ・ 保存会が活性化し、継承の機運がさらに高まった。
- (2) 来場者
 - ・ 倉吉の牛鬼など、県内のまつりの中でも初めて見るものがあった。
 - ・ 鳥取に居ながら全国の有名なまつりや交流を深めている海外の踊りを見ることができた。
- (3) ボランティア
 - ・ たくさんの方(観客、出演者、ボランティア同士)とふれあえ、元気をもらったようでとてもよかった。
- (4) その他
 - ・ 食のみやこ鳥取県フェスタの出店者からは、昨年よりも商品が早く売り切れたなどの意見があり、売り上げの向上にもつながり、連携開催での相乗効果があった。
 - ・ 香港の旅行業者が「麒麟獅子舞」に関心を持たれ、後日資料を送付することになった。
 - ・ ボランティア、動員者に対し連絡、指示の徹底が不十分であった。

5 今後の対応

- ・ さらに地域伝統芸能の発展・継承・交流、地域の活性化につながるような取り組みを検討
- ・ 今回の全国イベントの運営を検証し、今後の大規模イベントへ反映

《参考》

1 開催期間

平成21年10月10日(土)、11日(日) ※前夜祭9日(金)

2 会場

- (1) メイン会場 とりぎん文化会館梨花ホール
- (2) サブ会場 コカ・コーラウエストスポーツパーク、若桜街道、JR鳥取駅前風紋広場

3 主催

鳥取県、鳥取市、財団法人地域伝統芸能活用センター

4 主な内容

(1) メイン会場(とりぎん文化会館 梨花ホール)

○開催記念式典(10月10日)

- ・主催者挨拶(地域伝統活用センター会長 中村徹)
- ・高円宮妃殿下お言葉
- ・歓迎挨拶(鳥取県知事 平井伸治)
- ・来賓挨拶(国道交通省観光庁長官 本保芳明、経済産業省商務情報政策審議官 富田健介)
- ・歓迎挨拶(鳥取市長 竹内功)
- ・高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞、地域伝統芸能奨励賞 表彰式

○地域伝統芸能公演(10月10日、11日)

- ・高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等受賞団体ほか県外、県内、海外団体が公演

※展示室で地域伝統工芸展、フリースペースで観光物産展を開催

※高円宮妃殿下到着時にフリースペースで歓迎デモンストレーション(因幡の傘踊り)を実施

(2) サブ会場

ア コカ・コーラウエストスポーツパーク

○地域伝統芸能公演(県民体育館 10月10日、11日)

○地域伝統芸能体験教室(県民体育館前 10月10日、11日)

※コカ・コーラウエストスポーツパークでは「食のみやこ鳥取県フェスタ」を同時開催

イ 鳥取駅前風紋広場・若桜街道

○前夜祭(10月9日)

オープニングセレモニー(鳥取駅前風紋広場)、前夜祭パレード(若桜街道)

○県民オン(温)ステージ(鳥取駅前風紋広場)

○パレード(10月10日、11日)(若桜街道)

(3) 出演者交歓の夕べ(10月10日)

○会場: ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」

○出席者: 138名

「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」の策定状況等について

平成21年11月25日
観光政策課

ようこそようこそ鳥取県観光振興条例に基づく「ようこそ運動取組指針」の策定について、以下のとおり作業を進めている。

- 1 県内の関係者との意見交換の実施
 - ◆ 東部地区 11月10日(火) 於：県庁
 - ◆ 中部地区 11月11日(水) 於：倉吉体育文化会館
 - ◆ 西部地区 11月12日(木) 於：米子コンベンションセンター

- 2 主な意見
 - (1) 目標
 - ・ 目標数値は、「入込客数を倍増する」など、対外的にインパクトのある数値を打ち出すべき。
 - (2) 今後の取組内容
 - ・ 鳥取砂丘や大山といった自然だけでは人は来ない。地域ならではの魅力のある観光地づくりが必要。
 - ・ 地域の魅力を地域の人知らない。地域を知る学習会を開催するなど、教育面に力を入れて欲しい。
 - ・ 若者に元気がない。若者が企画・運営する観光イベントやチャレンジショップなど、若者が参画する機会の充実が必要。
 - ・ 鳥取県の知名度が低い。県出身の著名人を上手に活用して、情報発信してはどうか。
 - ・ 旅行形態が団体旅行から個人旅行へ変化している。インターネット対策などの個人客対策を強化していくことが必要。
 - ・ 旅行者の嗜好は多様化している。様々な観光メニューを開発し、観光客へ多様な選択肢を提供して行くことが必要。
 - (3) その他
 - ・ 観光振興のための特効薬はない。各自がやるべきことをコツコツと地道に実行して行くことが大切。

- 3 今後のスケジュール
 - ・ 12月 取組指針骨子まとめ
 - ・ 1月 ようこそ運動取組指針案作成・パブリックコメントの聴取
 - ・ 2月 ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会での意見交換
 - ・ 3月 ようこそ運動取組指針策定

《参考》

- ようこそようこそ鳥取県観光振興条例抜粋
(県民運動の推進)
- 第8条 県民等及び地域行政は、地域における創意工夫を生かした主体的な取組を通じて郷土に誇りと愛着を持ち、観光客に温かな心配りで接すること等により、観光の振興を図り、活力に満ちた地域社会を形成していく取組を県民運動として推進していくよう努めるものとする。
- 2 県は、前項の県民運動(以下「ようこそようこそ鳥取県運動」という。)が、県民等の相互の連携、協働のもとに、効果的かつ効率的に行われるよう必要な支援を行う。
- (取組指針の策定等)
- 第9条 県は、ようこそようこそ鳥取県運動を推進していくため、次の事項について定める取組指針(以下「ようこそ運動取組指針」という。)を策定する。
- (1) 本県の観光の振興のために基本となる事項
 - (2) ようこそようこそ鳥取県運動を推進するための体制に関する事項
 - (3) ようこそようこそ鳥取県運動の具体的な取組の内容に関する事項
 - (4) その他本県の観光の振興のために必要な事項
- 2 県は、ようこそ運動取組指針を戦略的かつ効果的なものとするため、観光客の動向等に関する調査及び研究を行うものとする。

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に向けた 国内候補地決定等について

平成21年11月25日
観 光 政 策 課

山陰海岸ジオパークについては、10月28日に開催された日本ジオパーク委員会において、今年度、国内で唯一の世界ジオパークネットワーク加盟申請候補地に決定されました。

平成22年中の加盟に向け、山陰海岸ジオパークの更なる認知度の向上及び広域連携の強化などを図っていくこととしています。

1 世界ジオパークネットワーク加盟推進大会開催

- ◆日 時 11月14日(土) 10:30~16:30
- ◆場 所 ホテルニューオータニ鳥取
- ◆参加者 約150人
- ◆概 要 第1部 推進大会
 - ・杉本伸一氏(島原半島ジオパーク推進連絡協議会事務局長)による記念講演
 - ・澤竜輝さん(岩美西小学校6年)による活動報告 など第2部 記念ジオツアー
 - ・浦富海岸、鳥取砂丘をボンネットバスで巡るガイド付きツアー

2 山陰海岸ジオパーク推進協議会事務所開設

- ◆設置日 11月17日(火)
- ◆場 所 兵庫県豊岡総合庁舎内(兵庫県豊岡市幸町7-11)
- ◆その他 当面の配置人員 6名(兼務を含む)
 - *当事務所へ鳥取県から職員1名を派遣

3 世界ジオパークネットワークへ加盟申請

- ◆申請期限 12月1日(火)
 - *日本ジオパーク委員会への申請書をベースに作業中